

【担当教員名】 五十嵐 紀子、Mark Surma		対象学年	3	対象学科	理学・作業・言語・義肢・健栄・スポ・社会・看護
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		関心・意欲	
◎		◎		◎	
態度		技能・表現			
○		○		○	
【一般目標：G10】 実際の場面を想定した英語ネイティブ教員による模擬患者・家族とのロールプレイを通して、保健医療福祉のサービスを提供する病院職員としてのコミュニケーションスキルを向上させることを目的とする。					
【行動目標：SB0】 1. 基本的な会話パターンに慣れ、場面に応じた対応をすることができる。 2. 多様なケースに対応できる柔軟性を身につける。					
回数	授業計画・学習の主題		SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1	オリエンテーション		2	講義と演習、担当：五十嵐 紀子 他	
2	病院内で想定される自分の役割について		2	発表およびディスカッション、担当：五十嵐 紀子	
3	会話練習		1, 2	ロールプレイと振り返り、担当：五十嵐 紀子	
4	会話練習		1, 2	ロールプレイと振り返り、担当：五十嵐 紀子	
5	会話練習		1, 2	ロールプレイと振り返り、担当：五十嵐 紀子	
6	会話練習		1, 2	ロールプレイと振り返り、担当：五十嵐 紀子	
7	会話練習		1, 2	ロールプレイと振り返り、担当：五十嵐 紀子	
8	会話練習		1, 2	ロールプレイと振り返り、担当：五十嵐 紀子	
9	模擬患者・家族とのロールプレイのための準備		1, 2	演習、担当：五十嵐 紀子	
10	模擬患者・家族とのロールプレイ（１）		1, 2	ロールプレイと評価、担当：五十嵐 紀子 他	
11	ロールプレイの振り返り		1, 2	ディスカッション、担当：五十嵐 紀子 他	
12	模擬患者・家族とのロールプレイ（２）		1, 2	ロールプレイと評価、担当：五十嵐 紀子 他	
13	ロールプレイの振り返り		1, 2	ディスカッション、担当：五十嵐 紀子 他	
14	発表の準備			演習、担当：五十嵐 紀子	
15	発表		1, 2	コースを振り返って学んだことを発表、担当：五十嵐 紀子 他	
【使用図書】		＜書名＞		＜著者名＞	
教科書 （必ず購入する書籍）				＜発行所＞	
参考書				＜発行年・価格 他＞	
その他の資料		ハンドアウト			
【評価方法】 授業への積極的な参加や課題に対する取り組みなどを総合的に評価する。		【履修上の留意点】			